



環境創造センターでは、放射線や福島の状況について正確に理解し、情報の発信源や科学と社会を繋ぐ懸け橋となる人材を育成するため、幅広い年代を対象とした各種講座を開講しています。

理科自由研究発表会 at コミュタン福島 対象:小学生

小学校児童の夏休みの課題の一つである理科自由研究の成果に関する発表会を開催しています。参加者は、コミュニティ福島のホールでの口頭発表やポスターセッションにより研究成果を発表します。大勢の観客の前での発表や他の児童の研究に触れること、児童間での意見交換、研究成果をポスターにまとめる作業などの経験を通して、科学への探究心やプレゼンテーション能力の成長を促します。



口頭発表



ポスターセッション

コミュニティサイエンスアカデミア 対象:小学生, 中学生

成果発表の様子は[こちらから](#)



「科学への興味喚起」、「原子力災害を経験した福島の状況理解」そして「情報発信への意識醸成」を目的とした講座で、年間全十数回の講座を通して、科学だけではなく地域課題など様々なことを学んでいきます。

小学校4年生から6年生までを対象としたBasicコースと中学生を対象としたAdvancedコースに分かれ、「科学のあたまは自分で育てる」をテーマに実験や体験活動、ワークショップ、意見交換などの活動を行い、ギモンに思ったことを自分で追いかける力や外部に向けて発信する力を高めていき、最終回では学んだ成果を発表します。



実験



ワークショップ



体験活動



意見交換

ふくしまナラティブ・スコラ 対象:高校生

高校生のプレゼンテーションは[こちらから](#)



ふくしまナラティブ・スコラは高校生向けのプレゼンテーション講座です。

「ナラティブ」とは、聞き手に想いを伝える話術、特に一人ひとりが主体となって語る表現技術のこと。「スコラ」とは「学問の技法」や「思考の過程」を意味する言葉です。

発災当時は幼かった今の高校生には、福島で生きてきた経験が一人ひとりにあります。そんな高校生が震災後の福島で生きてきた時間を振り返り、「福島で生きること」に向き合い、自分が伝えたいことを探求し、そして最後に、自分が一番伝えたい想いを自分の言葉でプレゼンテーションし、福島の今や未来を多くの人に伝えていきます。



グループワーク



講義



プレゼン練習



プレゼン大会